

# 対策！ 反対尋問 第参の巻

## 1. 本人尋問の流れ



第3回目の本人尋問は、一般原告9人の尋問が行われました。(上図：主尋問5分、反対尋問 東電10分、国 10分、追加主尋問5分) (法廷に立った原告：Yさん、Kさん、Kさん、Hさん、Kさん、Sさん、Kさん、Wさん、Nさん)

## 2. 本人尋問、あなたは間違っていない！

陳述書の範囲で、反対尋問が行われています。(陳述書内容確認) 被告のスピンの誘導には、ゆっくり考え答えれば十分です。わからない内容には、再質問をお願いします。

## 3. 9原告の尋問より。(印象的であったもの。傍聴されたみなさんはいかがでしたでしょうか)

・原告の兄弟、親戚の避難の有無→兄弟は避難したくてもできない(避難していないというよりも率直になぜ避難していないのか答えた) Hさん

・食品の当時の放射能暫定基準値について知っているかとの質問。Kさんの感想から。\*牛乳が50bq/kg 汚染があることを知っているか？震災前でこの数字はビックリして、知りませんと答えました。カリウムのことだった？ようで、カリウムも自然界にずっとあるものなので、人類は耐えられるようにできていると思います。核種は何ですか？とか聞ければ良かったのに、頭が働きませんでした。

・裁判官を見据え子どもの様子を伝えたKさん、Kさん。裁判長の補充尋問がありました。

・就労の苦勞を伝えたKさん、Wさん、Nさん。当時の思いを丁寧に伝えたYさん、Sさん。期日報告会まで残ってくださり、支援者へ感謝の気持ちを伝えてくださりありがとうございました。

## 4. 毎回登場！ 弁護団 高木先生よりコメントをいただきました！

高木先生は、DVDでも反対尋問へのアドバイスをしています。DVDは必見なので、本人尋問の日までの確認してみてください！

**再掲！** Q 放射線に関する情報源が専門家ではないですね。

このくらいの放射線量にリスクはないという見解もありましたよね。

=不確実情報を元に開始した避難に必要性も相当性もないという結論を導こうとする質問。

A 専門家でも意見がわかる分野。専門家だから正しい訳ではない。国や東電からの情報提供が遅くて曖昧で、不信につながっている中、自分で可能な範囲で調べての判断を責められる理由などない。

Q 今、国や自治体が安全だと発表しているのを知っていますか

避難中、空間線量（あるいは土壌汚染の程度）を調べましたか  
現在の空間線量（あるいは土壌汚染の程度）を知っていますか  
＝国の基準値を満たしている、あるいは空間線量等に全く頓着していないという事実を聞きだし、漠然とした不安感から避難しているだけであって避難継続の必要性や相当性がないという結論を導こうとする質問。

A 事故が収束しない（廃炉作業中のトラブル、汚染水、除染）状態で安全だとは思わない。

Q 事故前後の収入は

生活費の増加というのは具体的に何ですか？＝事故前後で収入が変わっていない、あるいは事故前後で生活費の増加がない（福島でもかかっていた費用だ）という事実を聞きだし、生活費増加分や避難雑費として請求されているものには理由がないという結論を導く質問

A 福島ではかかっていたのに、京都へきてかかるようになった費用（家賃、駐車場料金、食費など整理しておいてください）。

Q 避難元の方々との交流（電話やメール）はありますか 一時帰宅時にご友人とはお会いになりましたか？＝コミュニティーからの分断はないという事実を聞き出して、慰謝料を低減させることを意図した質問。

A 以前のような交流はないが、なんとか繋ぎとめようと努力している。（…第四の巻に続く）

## 5. 第3回目（本人尋問）を終えて…

先日19日、20日に、福島京都交流会が行われました。約10名の福島県や新潟県に住まう原告さんが集結！裁判の流れや、本人尋問の答え方、避難者と地元の方のお話、群馬訴訟の判決の読み時をしりして、大いに交流し勉強しました。

これから本人尋問される原告さんは、避難元周辺の空間線量あるいは、土壌汚染量の把握に努めてみてください。データを自分で持つということ。福島京都交流会でも出た意見であり、支援する会石田共同代表のお話にもあります。

今回の本人尋問予定の原告さんは、7名。うち、半数が京都府外に住まうみなさんです。ご自身やご家族の思い、地元の方々の苦悩、その付き合い方など複雑な気持ちを抱え日々生活していらっしゃいます。

前橋地裁判決が先の3月17日に下され、国と東電の責任は認められたものの、避難を「ただ違う場所へ移動したこと」との認識で賠償額を決めてしまった部分もあるようです。原告団がない群馬訴訟の弱さなのか…。私たち京都原告団は、臆せず進みましょう。29日の原告さんの本人尋問を、原告席で温かく、強いが見えない連携の糸で見守りたいと思います。